

ギリギリの魔法使い

ゆたかりとした時間に作るものより、期限ギリギリで作上げたものの方が内容が良い時があります。作文や挨拶の文、絵や習字の作品等々のように創造するようなものだとなおさらのようです。

「創造する人は常に危機に身を置かねばならない」と誰かが言っていた言葉を思い出した。

常に創造的な作業をしている人は、そのことを身体が覚えているようです。だから自らギリギリに追い詰められる状況をつくり出す。そしてそのギリギリの状況でのみ魔法が使えること知っているようです。

魔法を使っている姿は

- 髪の毛をよたよたと触る
- 指もよたよたと垂れかす
- 目がキョロキョロ動く
- パンをヒリヒリと動かす



観察してみませ。夕々しくの人々が同じような行動パターンをとるんです。

進化しながら族

私にはマネできないのですが、我家の高1の息子はTVを見ながらマンガを読む。しかもTVの番組で目が離せないような場面とか映画のクライマックスシーンでも平気で読み続けられている。私などお茶を飲んだり飲むことができない有様です。これはある意味スゴイ技術だなあ〜と感心してしまいます。きっと忙しい時代に合わせ人間が進化し始めているのかも……

お地蔵さん

たより

Vol.65

2009.5月号



偉いしよに保険を選びましょうオフィス鳥越
TEL 076-222-1258 FAX 076-222-1251

ちっと一息!!



幸せなひとときとは

自分自身が輝いているときかな?
とれってひょとして
めっちゃくちゃ忙しいときかもしれない。

汗だくのときかもしれない。

南の島のリゾートのビーチでゆっくりとしている時とは
対称的な価値感なのかもしれない。

一晩だけの天使

ちっと変なお話ですが
帰宅途中の私は車の中でこんなイメージをします。

{ 80歳になった私はひょとして一人暮らしかもしれない
そんな私の「願い事」は「あの日に帰りたい」だろ
ある日天使が現れて一晩だけその願い事を
叶えてあげようと言うので。やったあ〜家族喜ぶ前!!

さあどうぞの「ただいまあ〜」

どうイメージして家に入っていくと…
何と家族みんながいとしい…絶対に腹も立たない。
家族みんなのお話もしっかり聞いてあげたい。
一晩だけのお願いが…翌朝目が覚めても続いている。
朝もうれしい♡まるで魔法のようだ。
ひょとして私たちは毎日毎日がお願いで生きて
今を生きているのかも…